

2019年度(令和元年度) 児童発達支援・放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2019年(令和元年)12月9日

配布数:34 回収数:17 回収率:50.0%

事業所名:しえあきつず

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価(件数)					保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
			はい	どちらでもない	いいえ	わからない	無回答	
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・人数が多いと手狭に感じる時がある。 ・不必要なものを片付ける等工夫している。 ・お互いにスペースを譲り合い目が届くスペースを確保できている。 ・狭い中で目的に合わせて場所移動・確保ができています。子どもの荷物が多く適宜片づけをしている。	8	4	1	4	0	・引き続き、ふとんや物の配置を考えて、子どもたちが安全に移動や過ごせるようにしていきたい。 ・次年度新スペースへ移転にする。内覧の実施などをする。
	2 職員の適切な配置	・手伝いが必要な時にフォローしてもらえるスタッフが周りにいる環境である。 ・1対1以上の配置をしている。	14	0	0	3	0	・利用中はたくさんスタッフに関わっていただいている様子なので充分だと思う ・「わからない」という回答については見学等機会をつくる。 ・定期的に参観の機会をつくり、声掛けをする。 ・ご利用者1人につき1人のスタッフは大体確実に配置されているため十分だと感じるので継続する。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・段差はあるが、長年利用されているので各児の注意力和担当者の声かけ、周りのスタッフの配慮で安全。たたみで家庭的な空間になっている。 ・段差のある場所では簡易的なスロープで工夫している。	9	2	0	5	1	・一般の家なのでバリアフリーで言うと配慮が難しいが、引き続き工夫する。 ・来年3月に新スペース移転の為改善される見込み。新しい場所になるともっとわかりやすくなる。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・十分ではないが努力している。 ・毎日の施設内の清掃、シーツ、タオル等の洗濯等清潔に心がけている。 ・清潔に心がけ心地よく過ごせるようにしているが、活動するときのスペースは確保しにくいときもある。 ・季節を感じられるような飾りつけをしている。	11	0	0	5	1	・毎日掃除している。ドアノブや手がよくふれるところは消毒液でふいている。バギー利用とお布団スペースを分けている。これらを継続して実施する。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・定期的に会議を持ち、話し合っている。	/	/	/	/	/	・振り返りをする機会を設け、業務がスムーズに動けるようにする。具体的には、隔月で業務改善についての話し合いを行う。(残業、休憩、担当業務についてなど)
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・未実施。	/	/	/	/	/	・現状は未実施であるが実施についての検討を行う。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・スタッフ全体会議、フォーラムなどで研修がある。 ・外部研修へ参加している。そのための会社のサポートもあり。	/	/	/	/	/	・スタッフ全体会議での研修やスタッフ個人でも活発に外部研修を受けているので継続していく。 ・外部研修に参加した際は、きつず会議やスタッフ全体会議で伝達講習する機会を設ける。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・保護者の方の希望と本人の発達進度を見ながら、スタッフ間の意見交換のもと作成している。 ・職員間で情報交換し話し合いのもと計画されている。	17	0	0	0	0	・個別支援計画を作成していただき本人や親の希望をしっかりと把握していただいています ・送迎や訪問時、担当者からご家族へ聞き取りを実施している。今後も丁寧な情報共有をしていく。 ・計画作成時には会議を持ち看護師、保育士、リハビリ、ヘルパーが参加し色々な角度からみて計画を立てているので、それを継続する。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	・実施できている。	/	/	/	/	/	・集団での保育の課題、1人1人の課題をそれぞれの立場のスタッフで話し合い、計画を作成しているため、継続していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価(件数)					保護者の評価を踏まえた改善目標・内容				
適切な支援の提供	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	・実施できている。		17	0	0	0	0	・個別支援計画を作成していただき本人や親の希望をしっかりと把握していただいています	・集団での保育の課題、1人1人の課題をそれぞれの立場のスタッフで話し合い、計画を作成しているので、継続していく。	
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	・初めて担当についた場合や、あまり関わりのないご利用者の担当につく際には、支援計画を見て関わりを持つようにしている。 ・スタッフ間で話し合っ立案しているので支援につながっているが、立案に参加していないスタッフが計画をしっかりと把握できていない。		15	1	0	1	0	・個別支援計画を作成していただき本人や親の希望をしっかりと把握していただいています	・支援者が、個別計画を読むだけでなく具体的な支援を口頭でも伝えあう。 ・計画を立てた上で実施できている。計画が明確で行動しやすいので継続する。	
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	・スタッフ全員では立案できていない現状がある。 ・月1回きつず会議で保育士が具体的な案を出してくれ、具体的な事を決めることが出来る機会が作られている。		/	/	/	/	/	/	・年間行事予定が配布されているので季節ごとの行事内容を考えていただいているなど理解しています	・年度はじめに年間計画を立案しているので継続する。 ・保護者の方の希望や意見を取り入れ、より良いものにしていく。 ・保護者にきつずのイベントなどについてのアンケートを行い、意見を機会をつくる。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・柔軟に対応できている。		/	/	/	/	/	/	/	・放課後利用時と朝から利用で課題や対応を変える(長期休暇時は活動をし、放課後はリラックスメイン等)
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	・季節の行事を意識し変化をつける工夫をしている。 ・担当する児の年齢や特性に応じて活動内容は変えている。		15	1	0	1	0	/	/	・放課後利用時と日中から利用で課題や対応を変える(長期休暇時は活動をし、放課後はリラックスメイン等)。 ・月に1回お手紙などで様子を知ってもらう機会をつくる。 ・遠足、いもほり、お買い物体験、製作や遊びなど前月に話し合いを持ち計画を立てているので継続する。 ・季節に応じた活動に加えて個別性のあるプログラムも実施していく。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・毎朝スケジュール(流れ)をスタッフ一同で決めている。		/	/	/	/	/	/	/	・毎朝スタッフで集まりスケジュールの確認をしているので、継続して実施していく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・スタッフの出入りがあるので完全にはできていない。 ・ミーティングで前日気になったことなど話をする、またはメールなどで共有している。		/	/	/	/	/	/	/	・振り返りは、送迎等で集まっては行っていないが、気づいた点や必要な情報や気になったことは各々で、責任者、管理者、担当者へ伝達しているので、引き続き実施する。 ・朝のミーティングで前日の支援について振り返りや情報伝達ができるようにする。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・連絡帳に日々の記録を作成している。支援の変更などは会議や利用者ファイルに残している。 ・会議時にその都度議題にあげて、話し合いができていると思う。		/	/	/	/	/	/	/	・引きつづき記録はノートに細かく記録するよう心掛ける。 ・抑制時の記録が不十分なため記入していく。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・6か月ごとに行なっている。 ・入院などで体調や支援内容に大きな変化がある場合は、見直しも必要かと思う。		/	/	/	/	/	/	/	・6か月ごとに行っているので継続する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価(件数)					保護者の評価を踏まえた改善目標・内容							
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	・個別支援会議にはほぼ参加している。 ・児発管や管理者が参加している。							・積極的に参加していく。					
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	・学校お迎え時には学校の先生とその日の児の様子について共有をしている。 ・見学に行ったり連携が取れていると思う。							・送迎時、学校の先生とは情報共有を心がけている。これからも積極的に連携していきたい。 ・児童発達支援センターにご家族を通じて支援計画をいただく等連携していく。					
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	・できていると思う ・訪問看護や訪問リハを通じ連絡体制をとっている。							・訪問看護から医療的な事を聞くことが多い。声をかけ合い、伝達もれがないようにしていく ・訪問看護を利用していないご利用者は情報が得にくい。こちらから声掛けをして情報を共有していく。					
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	・できている。							・児童発達支援センターが関わっていないご利用者は学校との情報共有を行い、入学まで支援しているので継続する。					
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	・卒業生がまだいない。							・まだそのようなご利用者がいない。					
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・できている。							・スタッフの自分自身の分野でそれぞれ研修に参加している。 ・専門分野(リハビリ・看護師等)だけでなく、他部門の研修も受講していく。					
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	・できていない。 ・重症児対応の為なかなか難しい。							2	1	1	13	0	・直接の交流はないが、地域のお祭りに参加したり図書館、公園、スーパー等に出かけているので継続する。 ・幼稚園との交流や園庭解放へ参加していく。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・できていない。 ・地域の方との交流はないが、和菓子屋さんやスーパーなどへの買い物に出かけている。							・新スペースへ移転したら、色々と企画していく。 ・このような事業者があるということを知ってもらい、防災などでも協力し合えるよう普段からつながりを持つようにする。 ・季節のイベント等を行う時、外部からの参加者を募ったり地域の行事(お祭り等)に参加できるようにする。					
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・できている。 ・利用者負担について、2019年10月の消費増税に関してはお手紙+説明を行い報酬の改定を伝えた。随時、変更など伝えるようにする。		15	1	0	1	0	・支援内容や負担額の変更などがあれば説明する。また、遠足等の場合で負担がある場合は、事前にお手紙や連絡帳、口頭での説明を行う。					
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	・できていると思う。		16	0	1	0	0	・わかりにくいところはないか確認し丁寧に説明する ・「いいえ」の方がいらつやるため、全員が意識高く責任を持って内容を把握し説明する					

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価(件数)					保護者の評価を踏まえた改善目標・内容		
保護者への説明責・連携支援	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	・継続的に(きつだけでなく訪問でも)関わる子に関しては、きつでの長い関わりの中で、こうしたよかったということを伝えている。	9	0	2	6	0	・実施できるよう努める。 ・参観日を作り、保護者同士で交流できる日を設けた。今後も保護者が参加できるイベントを実施していく。	
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	・きつで関わる中で、こういう反応があるやこういうことに興味がある、ということは伝えている。 ・送迎の際に保護者と話をし、どんな過ごし方をしたかをお伝えしている(家や学校、きつなどについて)。	17	0	0	0	0	・その日に担当いただいたスタッフさんより毎回丁寧な説明をいただき、本人の様子がよくわかり助かっています ・今後も情報共有をしっかりと行い、共通の支援が常に行えるようにする。 ・担当スタッフ間で情報伝達のめれがないようにしていく。	
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	・お応えできることはお伝えし、わからないことは他スタッフに相談して返事をしている。	15	2	0	0	0	・1人で返答できないこともスタッフで共有し対応していく。 ・できる限り、適切な対応ができるよう研修会などに参加し知識、技術の向上を図る。	
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	・全員にできていない。一部の保護者にとどまっている。 ・父母会や保護者会は表立って行っていないが、参観などで保護者がつなげる機会を設けている。	8	5	2	2	0	・参観日を作り、保護者同士で交流できる日を設けた。今後も保護者が参加できるイベントを実施していく ・プチイベントのような感じで、少人数で集まって保護者同士が情報交換できる機会が不定期でもあるとよい。 ・放デイ利用の保護者の方で集まれる機会をつくる(平日)。	
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	・迅速な対応に努めている。 ・苦情等があればすぐに報告している。	9	1	0	7	0	・努力はしているが「どちらでもない」「わからない」が半数いるため、徹底する。	
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	・子どもたちの思いを汲み取れるように関わりを持ち、保護者とも信頼関係を築けるようにしている ・保護者の方の話をよく聞き、情報の共有や伝達ができていると思う。	16	1	0	0	0	・ノートには子どもが何をしたかだけでなく、その時の表情、気持ち(を推測)を丁寧に記載する。 ・「どちらでもない」という回答があるため、他にできないことが話し合う必要がある。 ・電話、ノート、直接お会いして伝達を心がける。	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	・年間スケジュール、避難訓練などの手紙を配布している。 ・定期ではない。 ・インスタグラムにのせたり行事のお知らせをしたりしている。	11	1	0	5	0	・定期的にできればよい ・年1回年間予定についてお手紙発行。行事ごとにプール、いも堀り、遠足等お手紙を出している ・季節ごと(4か月から半年)に1度くらいでしゅあめーるのきつ版を発行出来たら、日ごろの様子や連絡など掲載し楽しんでもらえたらと思う	
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	・できていると思う。	15	1	0	1	0	・現在の取り組みを引き続き行う。	
	非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・周知が不十分である。	6	0	2	9	0	・お便り等でお知らせする。 ・マニュアルはあるが保護者の方たちの周知が十分ではないようなので具体的な報告を行う。
		2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	・避難訓練を行ない非常時のイメージを持って行動を具体化できた。	4	0	0	13	0	・防災係をつくり、定期的に訓練を実施するように心がけている。実施できるように再度計画を立てて実施する。 ・訓練実施後会報等で保護者へ報告する。
3		虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	・実施している。						・全体会議で年3回実施しているので、継続していく。	
4		やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・実施できている ・安全のために行なうための拘束を必ず本人に説明する。極力負担のないよう注意し安全に行えるようにする。						・個別支援計画には記載しているが、ノートの記載が出来ていないことが多いので注意したい。	

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価(件数)					保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・アレルギーのあるこの情報共有はきちんと行っている。 ・アレルギーの検査結果をいただいている方もいる。	/	/	/	/	/	・利用者の口へ食べ物を入れる際や周りで活動する際にはアレルギーの確認をしながら対応していく。 ・口にする場合は家庭に前もって連絡し承諾を得るようにしているので、継続する。	
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・共有できるようにいつでもだれでもみられる場所にファイルで保管できている。会議でも共有している。	/	/	/	/	/	・事例を聞き自分自身の注意として理解する。 ・毎月、事故対策委員会を開き事故、ヒヤリハットに対する対応、対策を話し合いを実施しているので、継続する。 ・ヒヤリハットでの改善策策定後の振り返りを実施していく。	
満足度	1	子どもは通所を楽しみにしているか	・連絡帳や送迎時に、きつずを楽しみにしていましたなどをお言葉をいただいている。本人の気持ちを聞いて活動するようこころがけている。	17	0	0	0	0	・帰宅後は機嫌が良く、状態に変化もないので楽しんでいると感じています	・楽しみにできるようにかかわっていく。 ・現在の支援や環境を維持することを最低条件とし、日々出てくる問題を解決することで、さらに質の高い関わりができるようにしていく。
	2	事業所の支援に満足しているか	・どうしても放課後となると遊びが足りなくて満足できていない子もいると思う。 ・ある程度は満足して頂けていると思う。	16	1	0	0	0	・帰宅後は機嫌が良く、状態に変化もないので楽しんでいると感じています	・遊んだり、ゆっくりできる時間をつくっていく ・「どちらでもない」に1票あるのでもっと努力が必要。 ・子どもたちの気持ちをくみ取って、よりよい支援につなげていく。